

第3回理事会会議録

- 日 時 平成19年10月15日(月)午後3時10分～同5時10分
- 場 所 日本歯科医師会 801会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、高木忠雄、佐藤田鶴子、
平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、
宮崎 隆、栗原英見、荒木孝二
<理 事> 工藤逸郎、東理十三雄、瀬戸暁一、野口俊英、
中垣晴男、福島和昭、覚道健治、山田好秋、
森崎市治郎、佐貫直通
- 第21回日本歯科医学会総会
<会 頭> 大塚・兵衛
<準備委員長> 伊藤公一
<事務局長> 松村英雄
- 日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男(オブザーバー)
- 国際歯科研究学会日本部会
<監 事> 安孫子 宜光(オブザーバー)
- 欠席者 <常任理事> 相馬邦道
<理 事> 山根源之、岡野友宏

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

引き続き、大塚会頭から、第21回日本歯科医学会総会の準備に関わる進捗

状況報告を含めた挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告（平成19年7月9日～10月14日）
- 第2回理事会会議録（平成19年7月9日開催）
- 第4回常任理事会会議録（平成19年7月9日開催）
- 第5回常任理事会会議録（平成19年9月10日開催）

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

- 第21回日本歯科医学会総会関係報告（平成19年7月9日～10月14日）
- 学術プログラム企画・編成に伴う会場使用計画表

3) 国際歯科研究学会日本部会（JADR）理事会報告

黒崎副会長から、次の資料に基づき報告がなされた。

- 2007年度第3回JADR理事会日程（2007年8月27日開催）
- 第55回JADR総会・学術大会開催案内
会期：2007年11月17日（土）、18日（日）
会場：鶴見大学記念館
- 第56回JADR総会・学術大会開催案内
会期：2008年11月29日（土）、30日（日）
会場：愛知学院大学歯学部

また、JADRの安孫子監事より補足説明がなされた。

4) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

- 学会会計収支計算書（平成19年4月1日～平成19年9月30日）
- 第21回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書
（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

5) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

①「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

②「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

③歯科医療技術の評価・再評価の提案書の提出

黒崎副会長から、標記について、8月31日に専門分科会を対象に厚生労働省主催によるヒアリングが実施された旨、資料に基づき報告がなされた。

④歯科診療ガイドラインの作成

▶糖尿病患者の歯周病診療ガイドライン・ワーキングメンバー

住友総務理事から、先般日本歯周病学会に依頼した「糖尿病患者の歯周病診療ガイドライン（仮称）」の作成にあたり、同学会内にワーキンググループを設置した旨、メンバーリストに基づき報告がなされた。

なお、このメンバー12名に、本学会より栗原常任理事、日本糖尿病学会より推薦のあった田嶋尚子氏（東京慈恵会医科大学教授）の2名を委員として加えるよう申し入れ、日本歯周病学会の了解が得られた旨、報告がなされた。

また同ワーキンググループのメンバー構成は、大学関係者がほとんどである点から、日本歯科医師会推薦の臨床家をメンバーとして加えるよう申し入れる予定であることが報告された。

⑤「歯科疾患の総合的管理及び高齢者の口腔機能評価に係る基本的考え方」に関する検討会の運営等

黒崎副会長から、標記検討会の設置目的および会議の進捗状況について、資料に基づき説明がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

①厚生労働省打合せメモ（9月12日）

②医療機器産業政策の推進に係る懇談会（9月27日）

江藤会長から、標記打合せならびに懇親会の開催について、資料に基づき報告がなされた。

なお、厚生労働省（医政局経済課研究開発振興課長他）との打合せは、歯科の治験体制が不十分であることから協議することとなった。

これを受け、本学会歯科医療技術革新推進協議会において、①基準作り、②医療機関（ネットワーク）、③改正薬事法の運用の問題を解決していくこととした。

(3) 学会機構改革の推進

①日本歯科医学会認定分科会一覧表

井出副会長から、第78回評議員会で本学会認定分科会への登録が可決・承認された10学会について標記資料に基づき報告された。

②日本磁気歯科学会登録申請の取り扱いについて

井出副会長から、標記申請について、8月1日の公示より同31日までの受付期間中に、1学会（日本磁気歯科学会）より申請の届出があった旨、資料に基づき報告がなされた。

しかしながら、同学会から提出された申請内容について精査したところ、前回の申請と同一内容であることから、当該学会の本学会認定分科会への登録可否については、専門分科会資格審査委員会に諮問しないことが報告された。

(4) 専門医制度の確立

①専門医制協議会報告

住友総務理事から、標記協議会の進捗状況（口腔インプラント専門医について）および今後の運営予定について報告がなされた。

②広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

（広告することができる医師等の資格名の追加：平成19年8月2日受理）

- ・有限責任中間法人 日本大腸肛門病学会：大腸肛門病専門医
- ・特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会：婦人科腫瘍専門医
- ・有限責任中間法人 日本ペディアクリニック学会：ペディアクリニック専門医
- ・（社）日本看護協会：感染症看護専門看護師 他7 専門看護師関係

(5) 国際交流の推進

①第95回FDI年次世界歯科大会への本学会代表の派遣について

住友総務理事から、標記派遣について、資料に基づき報告がなされた。

会 期：平成19年10月24日（水）～27日（土）

派遣先：アラブ首長国連邦・ドバイ

派遣者：住友総務理事（派遣期間：10月19日～27日）

事務局 1 名（派遣期間：10月19日～27日）

②日中歯科医学大会 2008 準備委員会の開催について

佐藤常任理事から、日中歯科医学大会 2008（仮称）が平成 20 年 9 月 28 日（日）・29 日（月）の 2 日間、中国・西安で開催することが日本・中国間で合意したとの報告がなされた。

これを受け、標記準備委員会を近々に開催し、同大会開催に伴う準備・運営に関わる諸事項を検討することとした。

③専門分科会および歯科大学・歯学部の国際交流現況調査について

佐藤常任理事より、新たに依頼する調査事項である標記調査の実施に際し、同調査の目的や活用方法等について、依頼文案を基に報告がなされた。

6) 事業計画の推進

(1) 顕彰審議会への諮問について

住友総務理事から、標記審議会への諮問事項について、資料に基づき報告がなされた。

諮問事項：平成19年度日本歯科医学会会長賞候補者の選考

答申の締切：11月末日

(2) 日本歯科医学会誌第 27 巻の企画（座談会）について

高津常任理事から、標記座談会の開催について、資料に基づき報告がなされた。

(3) 電子ジャーナルへの参画について

高津常任理事から、標記への参画について、参画する方向で継続審議していくことが報告された。

(4) 英文雑誌の名称変更等について

平井常任理事から、インパクトファクター取得を目的とした英文雑誌の名称変更について、資料に基づき報告がなされた。

現タイトル：DENTISTRY IN JAPAN

新タイトル：The Japanese Dental Science Review

(5) ICD-11 への改訂に向けた対応について

住友総務理事から、標記改訂に向けた対応について、今後、本学会として、厚生労働省大臣官房統計情報部長より協力要請のあった下記項目について協力体制をとることが報告された。

疾病、傷害及び死因分類専門委員について

組織的検討体制の整備について

わが国の代表としての人材（国際ワーキンググループ協力員）をメンバーとして派遣することについて

(6) プロジェクト研究費 公募用研究テーマについて

佐藤常任理事から、今年度より新たに設置されるプロジェクト研究費の公募用研究テーマ 3 題および運用について、資料に基づき報告がなされた。

なお、複数学会が対象、採用された場合は、コーディネーターを決め、調整を図ることとした。

《公募用研究テーマ》

顎関節症の診療ガイドラインに関するプロジェクト研究

摂食・嚥下障害、構音障害の口腔内補助装置のガイドラインに関するプロジェクト研究

□要介護高齢者に対する訪問歯科診療ガイドラインに関するプロジェクト研究

(7) 歯科用医薬品に関する検討委員会（仮称）の設置について

佐藤常任理事から、標記検討委員会（仮称）の設置について、その設置目的および検討事項等について、資料に基づき報告がなされた。

7) 東北地区歯科医師会連合会からの要望について（学術講演会の継続開催について）

住友総務理事から、標記連合会からの要望書について、資料に基づき報告がなされ、同連合会の学術振興に対する積極的な姿勢を評価し、要望書に沿った対応を図る旨、報告がなされた。

8) 日歯生涯研修事業への協力について

(1) 学術論文のデジタルデータ提供について

住友総務理事から、標記について、各専門分科会においてデータ提供の可否について検討いただき、日歯会員の学術研修の充実発展にさらなる協力いただきたいとの依頼がなされた。

(2) 新日歯生涯研修事業に向けたモニターテストの実施について

住友総務理事から、標記モニターテストの実施については、本学会専門分科会より日本歯周病学会ならびに日本歯科麻酔学会の2学会に協力を依頼している旨、資料に基づき報告がなされた。

9) 第3回医道審議会医道分科会診療科名標榜部会報告

住友総務理事から、標記部会の審議状況について資料を基に報告がなされた。

また、今後の同部会の審議の進捗状況を注視しつつ、情報を入手しながら、本学会の対応策を検討していくこととした。

10) 「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル策定委員会（仮称）」委員の推薦について

住友総務理事から、標記委員の推薦については、日本口腔衛生学会な

らびに日本歯周病学会に委員の推薦を依頼している旨、報告がなされた。

- 1 1) 財団法人日本救急医療財団・心肺蘇生法委員会医療関係者教育研修ワーキンググループ委員の推薦について

住友総務理事から、標記委員の推薦については、心肺蘇生法歯科医療関係者研修検討委員会において検討する旨、報告がなされた。

- 1 2) 「日本口腔検査学会」設立への対応

住友総務理事から、標記学会の設立への対応について、10月2日付をもって同学会宛に回答した設立同意書に基づき、報告がなされた。

- 1 3) 歯科関係者のための食育推進支援ガイド

住友総務理事から、日本歯科医師会より発刊された標記支援ガイドについての報告がなされた。

- 1 4) 会長報告（日本歯科医師会第159回代議員会・第7回理事会報告等）

江藤会長から、日本歯科医師会第159回代議員会において、本学会認定分科会に10学会の登録が承認された旨、報告がなされた。

- 1 5) その他

なし。

4. 協 議

- 1) 「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会報告書

黒崎副会長から、標記検討部会より提出された「歯周病の診断と治療に関する指針」に関わる報告書の取り扱いについて諮られ、協議した結果、全会これを承認した。

- 2) 「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会報告書

黒崎副会長から、標記検討部会より提出された「有床義歯の管理について」、「ブリッジの考え方 2007」、「リラインの指針」ならびに「ス

「タディモデルの取扱い」に関わる報告書の取り扱いについて諮られ、協議した結果、全会これを承認した。

なお、同報告書にまとめられている各指針の名称を一般的なガイドラインと混同されることのないよう統一すべく、整備の必要性が指摘された。

また、同報告書は、今月中に厚生労働省（保健局医療課）へ提出することが確認された。

3) 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業における歯科評価総括委員会答申書

住友総務理事から、標記委員会より受理した答申の取り扱いについて諮られ、協議した結果、全会これを承認した。

4) その他

次回、第4回理事会を平成20年1月15日（火）午後3時から開催することを確認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。

【別添資料】

- 「歯科疾患の総合的管理及び高齢者の口腔機能評価に係る基本的考え方」に関する検討会（案）